

2016年9月2日
株式会社日立製作所
株式会社日立ビルシステム

ヒューマノイドロボット「EMIEW3」を活用した実証実験を羽田空港で開始

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と株式会社日立ビルシステム(取締役社長:佐藤 寛/以下、日立ビルシステム)は、このたび、日本空港ビルディング株式会社の協力により、日立が開発したヒューマノイドロボット「EMIEW3」を活用した旅客サービスの実証実験を、9月2日から羽田空港国内線第2旅客ターミナルで開始します。日立と日立ビルシステムはこの実証実験を通して、空港などの公共スペースや商業施設など人が多く集まる場所での接客・案内サービスの充実に向けた、新たな付加価値の創出をめざします。

これまで、日立は、人と対話し行動するロボット「EMIEW」を2005年に開発し、その後改良を重ね、2016年4月に「EMIEW3」を発表しました*。「EMIEW3」は公共スペースや商業施設などにおいて、サポートを必要とするお客さまのもとに自ら移動し、接客・案内などのサービスを通して、お客さま業務の支援を行うことを目的に開発したヒューマノイドロボットです。

羽田空港は国内旅行客のみならず、訪日外国人旅行客を迎える世界との玄関口であり、そこに集まるすべての人に対するバリアフリー化や情報アクセシビリティの向上が求められるとともに、世界に向けて日本の最先端技術を発信することができる場所でもあります。今回、羽田空港で実施する実証実験では、「EMIEW3」の持つ多言語対話機能や自律走行機能を活用し、お客さまへ店舗、施設などの情報案内や目的地への誘導を行います。これらの案内業務サポートを通して、多様なお客さまに合わせたサービス品質の向上、案内方法の最適化によるスムーズな移動の実現などを行っていきます。

*本技術に関する詳細につきましては、株式会社日立製作所のニュースリリース(以下)をご覧ください。

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2016/04/0408.html>

■実証実験について

1. 期間 2016年9月2日～12月頃

2. 場所

羽田空港国内線 第2旅客ターミナル 2階 出発ロビー

保安検査場D前 時計台6番付近

3. 実験内容

[ステップ1]2016年9月2日、

9月6日～9月7日 9:30～13:00、14:00～16:30

「EMIEW3」は専用の案内カウンターで空港利用者を迎え、日本語、英語の二カ国語で応対します。空港利用者の問い合わせに対し、案内カウンターの隣に設置した案内情報ディスプレイ

と連携し、ディスプレイに表示された地図や、空港施設の概要、店舗の写真などの情報を用いて案内を行ないます。(図1を参照)

[ステップ2]2016年9月8日～9月14日 9:00～11:00、13:00～15:00

「EMIEW3」が空港利用者の問いかけに対し、自律走行により案内情報ディスプレイまで誘導し、回答と説明を行ないます。(図2を参照)

(ステップ2の実施時間は、9:00～11:00、13:00～15:00の一日2回を予定していますが、空港施設運営などの都合上変更になる場合があります。)

[ステップ3]2016年12月頃予定

目的地までの案内を希望する空港利用者の要望にもとづき、「EMIEW3」がフロア内をより広範囲に走行し目的地まで案内します。

なお、ステップ2,3はそれぞれ前段階での実証実験の結果・評価にもとづき、内容・場所を検討します。



図1. 実証実験のイメージ ステップ1



図2. 実証実験のイメージ ステップ2

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 ビルシステムビジネスユニット カスタマー・サポートセンター
電話:0120-508-104(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
